

■無料修理規定

- 1.ご使用の方法、ご注意の内容に従った使用状態で、保証期間中に故障した場合には、無料で修理させていただきます。
- 2.無料修理をお受けになる場合には、製品に必ず保証書をそえて、お買い上げ店もしくはウェルトーン株式会社にご持参、ご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 3.ご転居、ご贈答品などで、お買い上げ店に修理依頼が出来ない場合にはウェルトーン株式会社にご相談ください。
- 4.保証期間内でも次の場合は有料になります。
 - (1)使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および破損。
 - (2)お買い上げ後の輸送、落下などによる故障および破損。
 - (3)火災、地震、水害、落雷、その他の天変地異、異常電圧などによる故障および破損。
 - (4)本書の提示がない場合。
 - (5)本書にお買い上げ年月日、ご芳名のお名前、販売店の記入がない場合、あるいは字句を書きかえられた場合。
 - (6)部品の消耗による交換。

●この保証書は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

●本書は再発行いたしませんので、大切に保管ください。

※この保証書は本書に示した、期間、条件に基いて無料修理をおこなうことをお約束するものです。したがって、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げ店もしくは、ウェルトーン株式会社にお問い合わせください。



愛情点検

★長年ご使用の「きこえてる」の点検を!

(熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いにより、部品が劣化し故障したり、時には安全を損なって、事故につながることもあります。)

このような
症状は
ありませんか

- ケーブルが傷んでいる。
- 内部に水や異物が入った。
- 正常に動作しなくなった。



ご使用
中止

故障や事故防止のため、すぐに本製品の使用を中止し、必ず販売店にご相談ください。

●お問い合わせ

ウェルトーン株式会社 営業部

〒534-0011 大阪市都島区高倉町1丁目8番11号

TEL (06) 6921-6178 FAX (06) 6924-2204

●Eメールでのお問い合わせは info@welltone.jp

(ウェルトーン株式会社のホームページは <http://www.welltone.jp>)

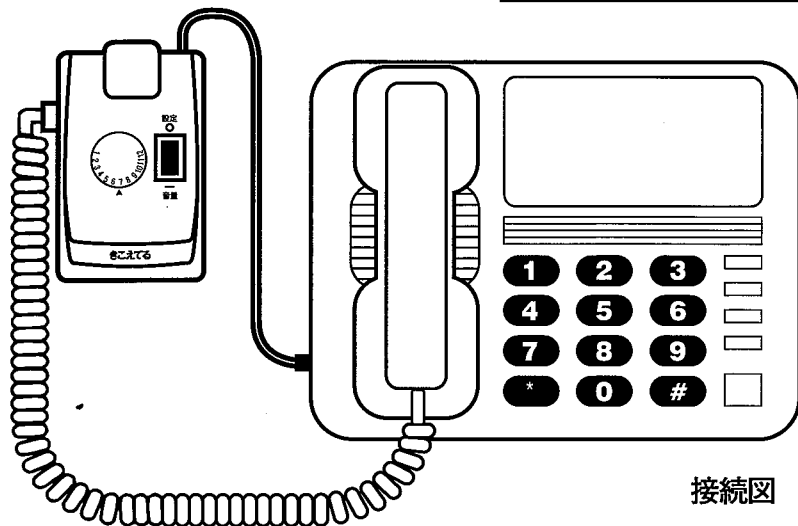
 welltone

取扱説明書

商品を安全にお使いいただくために必ずお読みください。

きこえてる

TA-12



接続図



保証書は別紙同梱

このたびは、「きこえてる」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
でございます。

- ご使用前に必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られる所に、必ず保管してください。
- ご使用中にわからない事があった場合は、再度「取扱説明書」をお読みいただき、ご使用方法をご確認ください。

安全上のご注意	2~3
本製品の特長	4
本製品の内容物	4
本製品の各部の名称	5
本製品の接続のしかた	6~7
本製品のご使用方法	8
故障かな~と思ったら	9
お手入れについて	10
仕様	10

安全上のご注意 (ご使用になるまえに必ずお読みください。)

- ここに示した注意事項は、お使いになる方や他の人への危害と財産への損害を未然にふせぎ、製品を正しく安全にお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
- 表示および記号の意味をよくご理解になってから、本文をお読みになり、記載事項をかみならず守ってください。

誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を、つぎの表示のように区別して説明しています。

⚠ 警告 この表示項目を無視して、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

⚠ 注意 この表示項目を無視して、誤った取り扱いをすると、傷害を負うまたは物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

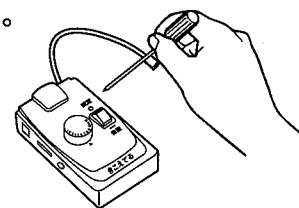
お守り頂く内容を、つぎの記号のように区別して説明しています。

⚠ 注意をすべき内容であることを示します。

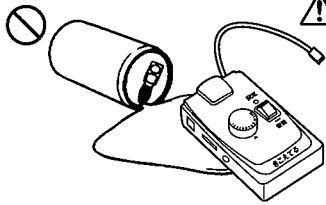
⊘ してはいけない禁止である内容を示します。

⚠ 警告

- 分解、改造をしないでください。
発煙、発火などの事故、または故障の原因となります。



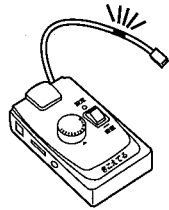
⚠ 注意



- 本体内部に水や異物を入れないでください。
本体内部に水や異物を入れると感電、故障の原因となります。万一、誤って水や異物が入った場合は、すぐに本製品の使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。

⚠ 異常や故障のまま使用しないでください。

本製品が正常に作動しない場合やケーブルの破損、本体からの発煙、異臭がした場合には、すぐに本製品の使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。



不適合機種に関する記述

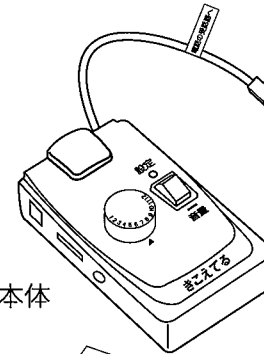
- モジュラージャック式以外の電話機には使用できません。
- お使いの電話機によっては、音声と一緒にノイズ(雑音)も拡大する場合があります。
- 電話機によっては音量を上げすぎると、音割れする場合があります。
- 長時間使用しない場合はACアダプターをコンセントから抜いておいてください。
- 落下など強い衝撃は、本品を壊すおそれがあります。

- ☞ **ご注意** 「きこえてる」をお使いの場合、電話機の「取扱説明書」と合わせてお読みいただき、正しく安全にお使いください。
- ☞ **ご注意** 設定/音量ダイヤルを速く廻すと、故障の原因になります。
- ☞ **ご注意** 「きこえてる」の不具合・接続ミスなどにより、通話の機会を逃したことによる責任は、一切負いませんので、ご了承ください。

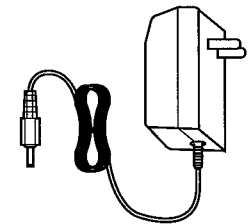
1 本製品の特長

- 電話機結線識別機能内蔵
初期設定において、ダイヤルで各電話機の結線を識別し通話可能となります。
- 低音・通常音・高音の3種類の音質を選択
マイコンによる聞きとりにくい音質をクリアーにする通話を実現。
- 磁気コイルにも接続できるイヤホン端子付
「きこえてる」本体に磁気コイルを接続し通話を可能にします。
- 音量はダイヤルで調節可能
1~12のダイヤルで調節可能。聞き取りやすい音量に設定して下さい。

2 本製品の内容物



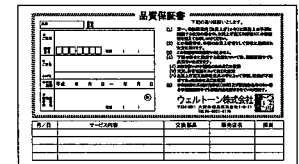
①きこえてる本体



②ACアダプター



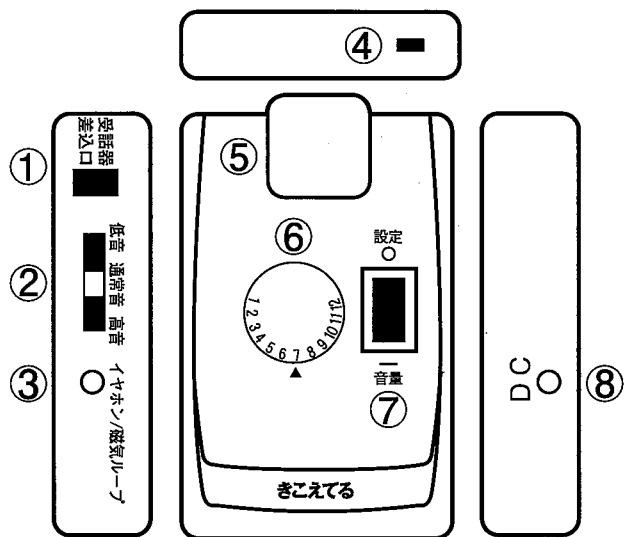
③取扱説明書



④保証書

3 本製品の各部の名称

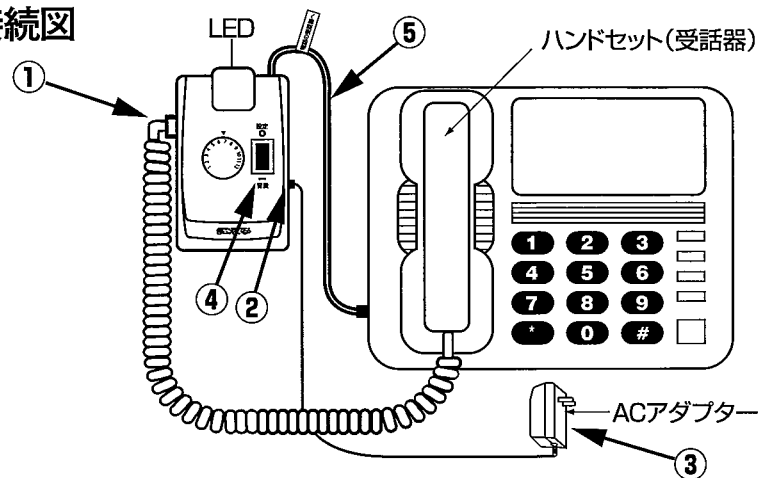
きこえてる本体



- | | |
|---|----------------------|
| ① 受話器(ハンドセット)を接続します。 | ③ イヤホンや磁気コイルが接続できます。 |
| ② 音質調整スイッチ
低音=低音を強調
通常音
高音=高音を強調 | ④ 電話機(本体)に接続。 |
| | ⑤ LED |
| | ⑥ 設定/音量調節ダイヤル |
| | ⑦ 設定/音量切替スイッチ |
| | ⑧ DCジャック |

4 本製品の接続のしかた

接続図



1. 接続方法 (接続図を参考にして、電話機本体と受話器に接続してください)
- (1) 電話機から受話器のプラグを抜き、「きこえてる」本体左側面の「受話器差込口」に差し込みます。(そのときカチッと言うまでしっかり差し込みます。)(接続図①) (このとき黒色のコード⑤は電話機に接続しないで下さい。)
 - (2) ACアダプタープラグを「きこえてる」本体右側面の「DC」に差し込みます。(接続図②)
 - (3) ACアダプターをコンセント(100V)に差し込みます。(接続図③)
 - (4) 「きこえてる」本体の設定/音量スイッチを「設定」にします。(接続図④)
※このとき「きこえてる」本体上部のランプが赤色に点灯し、ピーという音が鳴れば接続完了です。(接続完了したら、スイッチを「音量」に合わせて下さい。)
 - (5) 上記(4)でピーという音が鳴らない場合は、受話器を耳にあて、設定/音量ダイヤルを廻してピーという音が鳴る位置に合わせて下さい。
(ピーという音が鳴る位置は2ヶ所ありますが、どちらに合わせたいただいても結構です。)
※上記(5)でピーという音が鳴らない場合は、「きこえてる」本体底のカバーをはずし、補助スイッチを「ON」にして、再度上記(5)の操作を行なってください。

ご注意

- 接続設定時には、黒色のコードを電話機本体につながないでください。
- 「きこえてる」本体と電話機との接続設定は、設定／音量スイッチを“設定”から“音量”に切替した時点のダイヤル位置が記憶されます。したがって、再度スイッチを“設定”に切替えて、ダイヤルを違う位置に合わされて、スイッチを“音量”に戻されると元の設定が無効となります。
- 一度、接続設定されましたら、設定／音量スイッチは常に“音量”に合わせておいて下さい。
- 設定／音量ダイヤルは速く廻さないで下さい。

2.音量調節

- (1)「きこえてる」本体から出ている黒色のコードを電話機本体の受話器コードの差込口(受話器コードを抜いた箇所)に差し込みます。(そのときカチッと言うまでしっかり差し込みます。)(接続図⑤)
- (2)「きこえてる」本体の設定／音量スイッチを“音量”にします。
- (3)設定／音量ダイヤルを1に合わせます。
- (4)電話機の受話器を耳にあて、設定／音量ダイヤルを1から12へ順に廻して、聴き取りやすい音量に合わせて下さい。

ご注意

- 音量調節される際は、設定／音量ダイヤルを必ず1に合わせてから始めてください。(ダイヤルを大きな数字に合わされていますと、受話器からいきなり大きな音が出ます。)

5 本製品の使用方法

電話をかけるとき

- ①ACアダプターを接続してダイヤルします。
- ②受話器を耳にあて、音声を聞きながら設定／音量調節ダイヤルを廻して、希望の音量に合わせます。
- ③本体左横の音質調整レバー(低音・通常音・高音)を調整し、好みの音質にしてください。

電話を受けるとき

- ①ACアダプターを接続してハンドセットを上げます。
- ②受話器を耳にあて、音声を聞きながら設定／音量調節ダイヤルを廻して、希望の音量に合わせます。

ご注意

- ACアダプターを抜いて電源を切っても接続設定は記憶されていますので、再度、設定操作を行なう必要はありません。但し、電話機本体を交換された場合は、再度接続設定操作を行なってください。

6 故障かな~と思ったら

故障ではないかと思った時は、もう一度取り扱い説明書をよく読み、つぎのチェックポイントをお調べください。

症状

調べるところと処置

相手の声が聞こえない



- ・接続方法は間違っていないか?
- ④ 1.(1)から(5)を確認して下さい。
- ・ACアダプターはきちんと接続されていますか?

相手の声が聞こえにくい



- ・「聞こえてる」本体の設定/音量切替スイッチを“音量”にして、設定/音量調節ダイヤルを大きい数字に合わせてください。

7 お手入れについて

- 本体のお手入れは、柔らかい布で軽くふきとってください。汚れがひどい場合は水でうすめた中性洗剤をつけた布でふきとった後、乾いた布で仕上げてください。
- 本体コード部の汚れは、柔らかい布で軽くふきとってください。汚れがひどい場合は、少量のアルコールをつけてふきとった後、乾いた布で仕上げてください。

ご注意

- 本体をベンジンやシンナーでふかないでください。変色することがあります。

仕様

■仕様

電源電圧	DC7.5V (AC100V)
消費電力	最大 約2.3w
製品重量	約 140g

修理メモ
